

保護者 様

一宮市立浅野小学校長
伊藤 文代

「令和2年度 学校教育推進のためのアンケート」のお礼と結果について

保護者の皆様方には、本校の教育活動のためにご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、過日、アンケートをお願いいたしましたところ、ご回答をいただきましてありがとうございます。このアンケートは、本年度の本校の教育活動を振り返るとともに、次年度に向けて、より実のある教育活動を展開するための貴重な資料です。

つきましては、アンケート結果を下記のようにまとめましたのでお知らせします。なお、今回の結果につきましては、教職員一同、来年度の学校経営に活かし、教育活動のいっそうの充実を図ってまいりたいと存じます。今後ともよろしくをお願いいたします。

《アンケート結果のまとめ》

【項目1～6 学校への関心について】

- 全体として、学校への関心が高く、保護者、地域、学校の連携にも高い評価をいただいています。今後とも明確な目標のもと、魅力ある学校づくりに向けていっそう努めます。
- めざす児童像の「よく学び、深く考える子ども」「仲良く助け合う子ども」「心も体もたくましい子ども」の周知は、特に低学年では、まだまだ不十分であり、繰り返し呼び掛けていきます。
- 本年度はコロナウイルス感染症関係の連絡が多くなり、保護者の皆様にもご協力をいただくことがたくさんありました。学校と家庭との連携の大切さを改めて実感させられました。次年度はコロナウイルス感染症関係の連絡だけでなく、学校の教育活動の発信に努めます。

【項目7～12 本校の姿勢・対応について】

- 9割以上の児童が楽しいと感じてくれてはいますが、コロナウイルス感染症の心配がある今だからこそ「学校が楽しい」と言ってくれる子をもっと育てていかななくてはと考えます。来年度は子どもたち同士、子どもと教師のよりよい人間関係づくりにいっそう尽力していきます。
- 職員の対応や保護者の方への悩みや相談について親身になっていると高い評価をいただいています。しかし、悩みや困ったことを先生に相談できない児童もまだいるということのを真摯に受け止め、児童はもちろんのこと保護者・地域の皆様の声にもいっそう耳を傾け、寄り添いながら親身な対応に努めていきます。

【項目13～21 学習・体力面について】

- 基本的な学習マナーや基礎・基本的な学力の定着が昨年度より向上しているという評価でした。今後も、子どもたちの学ぶ楽しさと学ぶ意欲を引き出し、学習の基礎・基本の定着が図れるよう、学習指導のさらなる充実に努めます。また、教師も新学習指導要領改訂に対応しながら、よりわかりやすい授業を行えるよう研修、研鑽を積み重ねます。
- 家庭学習の習慣化については9割近くの値を示しており、保護者の方のご協力に感謝しております。
- 読書好きの児童の増加には努力が必要との判断を今年もいただきました。今後は、学校や家庭での読書の習慣づくりを図り、本を読む楽しさを味わわせる機会を工夫していきたいと考えています。児童が家庭学習や読書について、目的意識をもって意欲的に取り組めるよう、ご家庭のご理解やご協力を得ながら指導してまいります。
- 「最後までがんばる気力と体力が身についているか」の項目については、昨年度より4%も下がっています。コロナウイルス感染症による休校等の影響もあるかとは思いますが、今後は、成功体験を経験させること、目標をもたせること、自信がもてるような言葉かけなどに積極的に取り組み、何事も地道に最後までやり遂げる児童の育成に努めていきます。
- 運動会や学習発表会などの学校行事はコロナウイルス感染症により縮小や中止という判断をさせていただきました。今後もコロナウイルス感染防止の観点や新学習指導要領の完全実施により行事の縮小や中止をさせていただくことがあります。しかし、子どもたちが目標をもち、積極的に取り組めるような手だて・方法の工夫に努めていきます。

【項目22～30 生活・安全面について】

- 各家庭や地域の方々に、日々ご理解・ご協力をいただいているおかげで、「どちらかと言えば」を含めれば90%に及ぶ方が、基本的な生活習慣、公德心が身につけてきていると認識しています。今後もあいさつの励行、日常生活におけるマナーやルールの遵守などを最重要課題と捉え、家庭・地域・学校が緊密に連携する中で、児童の豊かな心を育てていきたいと思えます。
- 大規模地震等に備える家庭での話し合いは8割を切っており、年々割合が下がってきています。日常生活における安全対策については、防犯ブザーやホイッスルの携帯、自転車利用時のヘルメットの着用など、安全面の意識を高めていかなければと考えています。学校・家庭・地域が一体となって、児童の安全確保に努め啓発活動をいっそう推進します。